

神奈川県病院協会

第10回 働き方改革推進会議

「医師の働き方改革と地域医療の両立について」

～これまでの議論で見えてきた課題と

今後想定される課題」～

令和5年9月6日（水）

1 これまでの取組

2024年4月の「医師の働き方改革」実施に向け

- 制度概要の把握
- 特例水準の申請
- 宿日直許可の労働基準監督署への申請
- 地域ワーキンググループの開催等

2-1 最近の議論で見えてきた課題

<第8回、第9回推進会議での議論>

→ 制度の手続き等から、病院経営や地域医療への影響等の議論へ

- 人材の確保、人件費の増
- 各地域の宿日直許可等の状況
- 地域の救急医療の維持
- 大学病院（医師の派遣、研究活動、医師の確保等）
- 勤務時間インターバル等
- 診療科ごとの状況 等

→ 病院や地域間などで課題が様々であることがみえてきた

2-2 今後想定される課題

<第8回、第9回推進会議での議論を踏まえて>

→ 今後、徐々に明らかになってくる課題があるのではないか

- 現在は、特に課題はなくても、
働き方改革の取組を継続する中で、
徐々に課題が顕在化することがあるのではないか
- ・ 病院経営上の課題
人事・組織、資金など
- ・ 二次救急体制の課題
体制を継続できない病院など

等

3 目指す姿

これまでの検討を踏まえ、

「医師の働き方改革」を進めるとともに、

持続可能な病院経営と地域の医療体制の両立を図る。

このため、

- 働き方改革推進会議等により情報の共有化等を継続
- 各地域内での関係機関等を含めた連携・協力の推進
- 「医師の働き方改革」の意義の県民への周知・理解
- 具体的な提案・要望

等

4 今後、取り組む項目（その1）

今後、

「医師の働き方改革」と病院経営と地域医療体制を両立するためには、（病院として）

- 特例水準の申請
- 宿日直許可の申請
- 各病院の院内体制の整備、職員の意識啓発
- 地域内での情報共有、連携

- 当初の計画どおり仕組みが回っているか
→新たな想定外の事項への対応が必要

等

4 今後、取り組む項目（その2）

今後、

「**医師の働き方改革**」と、**持続可能な病院経営と地域医療体制を両立**するために、**行政等**が主体的に取り組むことを期待

- 病院経営の支援
- 地域における医療体制
- 保健医療計画など行政計画への位置づけと支援
- 「医師の働き方改革」の県民への周知・意識啓発

【以上、国及び県への要望済】

(○ 高齢化や人口減少・少子化の影響)

等

ご清聴ありがとうございました。